



NIEタイム スタート!



本年度から本校は、NIE (Newspaper in education = 教育に新聞を) の実践指定校を受け、9月からは毎朝、複数社の新聞が届くことを9月号でお知らせしました。実際に、子どもたちが新聞(新聞記事を含む)に触れられるように、教育課程を少し見直し、**週に1回、朝の時間に「NIEタイム」を設定し**、全校で取り組むことにしました。

10月25日には第2回目の取組を行いました。第2学年では、**宮日子ども新聞を活用**し、桐山雄介先生の質問に対して児童が答える形の「記事の内容を全員で共有する取組」がなされていました。(第1学年も同様の取組をされていました。)

自分の**手元にある本物の新聞**と、先生がモニターに映した新聞を照らし合わせながら、**文章や写真から情報を正しく取り出す**ことは、「**読解力**」を育成することにもつながりますので、継続していきたいと考えています。



また、同日には「国富町宮日新聞の日」の取組として、宮崎日日新聞社読者局の黒木友貴さんが出前授業に来られ、5年生に対して新聞についての話をしてくれました。取り扱われた内容は、次の通りです。

- 1 はじめに
- 2 新聞ができるまで
- 3 新聞の仕組み
- 4 新聞を読むコツ
- 5 新聞の魅力と面白さ
- 6 現役記者からのメッセージ
- 7 まとめ 質疑応答



現役記者としては、東諸支局の野崎亮さんが来られ、記者の仕事について話をされました。

5年生では国語科で「新聞を読もう」という教材もありますので、新聞を読むコツや新聞の魅力を知ること、興味や関心が高まるのではないかと期待しています。

最後の質疑応答では、記者をしているの「思い出」や「やりがい」「嬉しかったこと」「苦しかったこと」など、**キャリア教育にもつながるような質問**が多く出されました。地田惺太さんが2回も質問してくれました。今後、自分たちで新聞を作成する上でも多くの学びがあったように感じました。

評議員会委員さんの声



10月20日に、八代中学校で、第2回八代中・八代小合同学校評議員会が開催されました。

第1回は7月に開催され、両校の校長が学校経営方針を説明し、1年間どのような学校づくりを目指していくのかを伝えました。

その上で、今回は、現時点での進捗状況を説明し、委員の皆さんから質問を受けたり、意見をいただいたりしました。(次年度からは、すでに木脇中学校区で立ち上げられ、2年目を迎えている**学校運営協議会制度=コミュニティ・スクールが八代中学校区でもスタートする予定**です。)

コミュニティ・スクールとは

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への**転換を図るための有効な仕組み**です。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、**地域と一体となって特色ある学校づくり**を進めていくことができます。

一言で言えば、私がいつもお伝えしている「**地域の中にあり信頼されるみんなの学校**」にするために、住民の代表である委員の方に、学校が計画や課題等を説明した上で、お互いのできるかことを協議し、提案をしていただいたり、承認をしていただいたりする制度です。個人的には、**八代地区にはぴったり**の**制度**だと思います。令和6年度からのスムーズな移行に向けて、本年度準備を進めているところです。

最後に、八代中校区の課題についての意見が何点か出されました。また、八代小学校の児童や学校の取組に対して、嬉しいご意見もいただきました。

□ 八代中学校区の課題

- ① **交通安全**の指導を徹底するべきではないか。中学生の登下校は、道路が陥没したり、竹や木の葉、苔などが危険要因になったりしている。行政にもお願いすべきではないか。
- ② **児童生徒数の減少**が、今後どのように見込まれるか。地域に学校がないと、地域が衰退していくのは目に見えている。

□ 八代小学校に対する意見

歩いている児童がいたので、車を止めて道を譲ったところ、帽子をとって大きな声で挨拶してくれました。とても気持ちよかったです。礼儀正しい児童がたくさんいるんですね。



学校から丁寧に地域の児童のことを教えていただいたおかげで、有志が集い、久しぶりに浦安の舞が復活しそうです。運動会の児童の姿はすばらしかったですね。地域の方がとても喜んでおられましたよ。